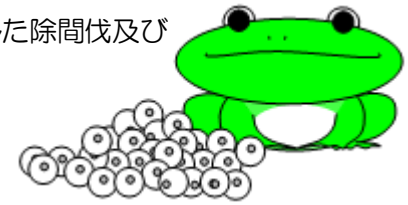
活動予定（２０１５年３月）◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

・〈作業〉〈調査〉〈観察〉は小雨決行。〈うん・えー会〉〈勉強会〉は雨天決行。
・荒天の場合はセンターまでお問い合わせください。
・車の方は，必ず駐車場ゲートで名前を告げ、通行証を提示してください。
・活動内容は、当日の参加人数、天候等によって変更になる場合があります。
・〈作業〉の標記のある日の服装は「森会スタイル」（長袖、長ズボンで安全に作業ができる動きやすい服装）でご参加ください。必要な持ち物は、いぼ付軍手．帽子．タオル．弁当．飲物．おやつ．筆記用具の他、必要に応じて、着替え、雨具をご持参ください。

3月22日（日）　９：３０～１５：３０　〈作業〉

◇内　　容：**アカマツ林整備**

１月の活動に引き続き、アカマツ林Ｄ地区にて広葉樹を中心とした除間伐及び地掻きを行い、アカマツの生育や更新を促進します。



◆会員登録更新手続きのご案内

更新手続きは、３／２４締切りです。お忘れになりませんように！！

◆４月～６月の活動予定は今後、ＨＰ（http://www.morikai.org/）でお知らせします。

ー森を育てる会 20 周年を迎えてー

90 年に当時の自然観察センターのレンジャーが中心となり、「センター周辺の森を昆虫が観察しやすい環境に整備したい。子供たちに豊かな自然体験をさせたい」という狙いをもった「甲虫(こうちゅう)の森づくり」が提案されて翌年の市長の年頭の挨拶で甲虫(こうちゅう)を甲虫(かぶとむし)と読み替えられ、カブトムシの森づくり(野外でカブトムシが観察できる施設づくり)がスタートしました。

それから３年かけて整備され、スギ・ヒノキ林を皆伐してクヌギ、コナラの苗木が植えられました。95 年に自然観察センターの「環境管理の市民ボランティア育成事業」として「カブトムシの森を育てる会」が企画され、メンバー募集。当時は、全国的な市民ボランティアによる里山保全活動が活発となりつつあるころで福岡でもそんなグループを育てたいというレンジャーの思いを受けて、センター行事として始まりました。

97 年には、アカマツ林の保全活動にも着手しました。このころからセンター主導の活動から自主的な運営に移行し、「森ものがたり」やホームページが順次整備されてきました。

発足当初は、カブトムシの飼育・放虫の活動に集まった親子連れで 80 名余りいた会員は森の保全活動が中心となっている現在、60 名と減少し、年齢も高齢化しつつありましたが、昨年から県立柏陵高校の生物部の生徒や先生の参加を得て、にぎやかな活動となっています。

カブトムシの森の保全目標は、クヌギを中心とした落葉広葉樹の複層林を目指しており、最近ではそれらによって育まれるさまざまな昆虫も見られるようになってきています。一方、アカマツ林の保全目標は、マツタケの発生するような元気なアカマツの単純林を目指しており、現在、これらの目標に向かって着々と整備を進めています。

森を育てる会の活動が 20 年間に亘って続けられてきたことは、偏に会の先輩諸氏の熱意と献身の賜物であり、自然観察センターの方々並びに折に触れご指導頂いてきた先生方のお蔭であって、ここに深く感謝致しますとともに、ご支援頂いている市民の森管理事務所の方々、助成をしてくださっている（公財）福岡市緑のまちづくり協会に御礼申し上げます。

私たちはこれからも福岡の子供たちのために末永く活動を続けていきます。　　代表　鎌田隆

油山自然観察の森　森を育てる会　会報『森ものがたり』　季刊発行
編集担当：川上寛、篠原慶規、鎌田隆、静間純、松雪清人　　印刷担当：山川昇一